

歯質保存に優れ、メタルフリーな治療を可能にする “ブリッジ”の新提案

シングル

1リテーナーオールセラミック 接着ブリッジ 臨床ガイド

著 大谷一紀

歴史ある接着ブリッジの臨床は今、そのフレームワーク材料にオールセラミック材料を使用し、リテーナーを片翼だけとする、いわゆる1リテーナーオールセラミック接着ブリッジが世界的に話題となっている。

本書は、接着ブリッジの基礎知識および1リテーナーオールセラミック接着ブリッジの検査、診断、治療計画を解説したうえで、その臨床工程をステップバイステップで、豊富な写真とともに余すことなく解説したものである。



本書内「推薦の言葉より」(抜粋・敬称略)

本書中では、手がけた症例の経過を細部にわたり観察していることが見てとれ、このような臨床に対する著者の姿勢が、高い成功率、生存率に結びついているのだろうと感心させられる。

行田克則
東京都開業

読者は、本書を通じて、ジルコニア接着ブリッジが従来の治療法と比較してどのように優れているのかを理解し、その実践において、より確かな手腕を身につけることができるでしょう。

小峰 太
日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅲ講座教授

本書の目次は裏面へ

QUINTESSENCE PUBLISHING
日本

●サイズ:A4判 ●160ページ ●定価13,200円(本体12,000円+税10%)

クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <https://www.quint-j.co.jp> e-mail mb@quint-j.co.jp



『1リテナーオールセラミック接着ブリッジ臨床ガイド』 目次

CHAPTER 1 接着ブリッジの基礎知識

- 1-1. 接着ブリッジの定義
- 1-2. 接着ブリッジの歴史
 - 1-2-1. 接着ブリッジの原型"Rochette bridge" (ロシェットブリッジ)
 - 1-2-2. Maryland bridge (メリーランドブリッジ)
- 1-3. 接着ブリッジの臨床成績の苦い過去
- 1-4. 接着ブリッジの構造と材料
 - 1-4-1. 接着ブリッジの構造と各部の名称
 - 1-4-2. 接着ブリッジの使用材料
- 1-5. 接着ブリッジが検討される時
- 1-6. 接着ブリッジの適応症と不適応症
- 1-7. 接着ブリッジの臨床成績の向上とリテナータイプの知見の集積
 - 1-7-1. 歯科接着技術の進化による臨床成績の向上
 - 1-7-2. 2リテナーよりも1リテナーへ
- 1-8. 接着ブリッジの合併症
- 1-9. 前歯部を主とした1リテナーオールセラミック接着ブリッジの実践へ

CHAPTER 2 1リテナーオールセラミック接着ブリッジの基礎知識

- 2-1. 1リテナーオールセラミック接着ブリッジの代表的な研究論文：酸化アルミニウムセラミックス、ニケイ酸リチウムセラミックス
 - 2-1-1. Kernの臨床研究
 - 2-1-2. Riesらの臨床研究
 - 2-1-3. Sailerらの臨床研究
 - 2-1-4. KoutayasらのIn Vitro 研究
- 2-2. 1リテナーオールセラミック接着ブリッジの代表的な研究論文：ジルコニアセラミックス
 - 2-2-1. Tomanらのin Vitro 研究
 - 2-2-2. KlinkとHüttigの臨床研究
 - 2-2-3. Kernらの臨床研究
 - 2-2-4. SailerとHämmerleの臨床研究
 - 2-2-5. Shahdadらの臨床研究
- 2-3. 脱離、破折、チッピングの原因と対策
 - 2-3-1. 脱離の原因と対策
 - 2-3-2. 破折の原因と対策
 - 2-3-3. チッピングの原因と対策
- 2-4. 筆者の接着ブリッジ臨床成績
 - 2-4-1. 脱離した5症例の考察
 - 2-4-2. 破折した1症例の考察
 - 2-4-3. チッピングが生じていないことの考察
- 2-5. 外れること(脱離)の発想転換

CHAPTER 3 1リテナーオールセラミック接着ブリッジの診察、検査、治療計画

- 3-1. 診察、検査項目
- 3-2. 支台歯の診察と検査
 - 3-2-1. う蝕やtooth wear(酸蝕、咬耗、摩耗)等の有無あるいはそれらの進行度合い
 - 3-2-2. 歯周病の有無やその進行度合い
- 3-3. 欠損部位の診察と検査
 - 3-3-1. 適する欠損部位か
 - 3-3-2. 欠損部位の近遠心的幅径の広狭
- 3-4. 咬合の診察と検査
 - 3-4-1. パラファンクション(ブラキシズム、クレンチングなど)の有無
 - 3-4-2. 支台歯および欠損部位(ボンティック)の対合歯群との咬合状態
- 3-5. 口腔衛生状態の診察と検査
- 3-6. 患者の機能性や装着感による支台歯適応の検査：モックアップレストレーション
- 3-7. 治療計画
 - 3-7-1. 支台歯の決定(近心カンチレバーか、遠心カンチレバーか)
 - 3-7-2. 支台歯と欠損部周囲および対合歯群の環境整備(リスクファクターの軽減、除去)

- 3-7-3. 補綴装置の構造と材料選択
 - 1)陶材前装タイプか、それともモノリシックか
 - 2)ニケイ酸リチウムセラミックスか、それともジルコニアセラミックスか
 - 3)種々のジルコニアセラミックスの使い分けについて

CHAPTER 4 1リテナーオールセラミック接着ブリッジの治療の実際

- 4-1. 支台歯形成デザイン
- 4-2. CAD/CAMでフレームワーク材料を製作する場合の支台歯形成デザインの注意点
- 4-3. 印象採得
- 4-4. プロビジョナルレストレーション(PVR)
 - 4-4-1. PVRの役割
 - 4-4-2. PVRの材料とその製作
 - 4-4-3. PVR 基底面と欠損部頸堤基底面への形態付与
 - 1)オベイト型ボンティック
 - 2)オベイト型ボンティックに対応した欠損部頸堤基底面形態の付与方法
 - 4-4-4. PVRの装着材料
 - 4-4-5. PVR 装着における考慮事項
 - 1)強固に、しかし除去しやすい接着
 - 2)どの歯と接着させるのか
 - 3)被着面は何なのか?
 - 4-4-6. 支台歯形成前の歯に対するPVRの装着と除去
 - 4-4-7. 支台歯形成後の歯に対するPVRの装着と除去
- 4-5. 歯科技工士への技工指示
 - 4-5-1. 使用材料
 - 4-5-2. リテナー部の形態
 - 4-5-3. ボンティック基底面の形態
 - 4-5-4. 連結部の面積
 - 4-5-5. 補綴装置被着面への表面処理
 - 1)ニケイ酸リチウムセラミックスへの表面処理法
 - 2)ジルコニアセラミックスへの表面処理法
- 4-6. ポジショニングスプリントの製作
- 4-7. 装着準備
 - 4-7-1. 試適
 - 4-7-2. 装着材料の選択
- 4-8. 装着
 - 4-8-1. ラバーダム防湿
 - 4-8-2. 接着ブリッジ被着面の清掃
 - 4-8-3. 支台歯への被着面処理
 - 1)支台歯被着面の清掃
 - 2)水洗、乾燥→ボンディング材塗布
 - 4-8-4. 最終装着
 - 1)接着ブリッジ被着面へのボンディング材塗布～乾燥～コンポジットレジンによる装着
 - 2)余剰セメントの除去：その1(光照射前)
 - 3)光照射
 - 4)余剰セメントの除去：その2(光照射後)
- 4-9. 咬合調整
- 4-10. メンテナンス
 - 4-10-1. メンテナンスの間隔
 - 4-10-2. メンテナンス時の確認、評価事項
 - 1)ブラークコントロール
 - 2)歯の移動
 - 3)ボンティックと欠損部頸堤基底面軟組織との接触状態
 - 4)フレームワーク上に築盛した陶材のチッピング
 - 5)ブラキシズム



著者 大谷一紀(おおたに・かずのり)

【略歴】

1997年 日本大学歯学部卒業
1997年 日本大学歯学部歯科補綴学第III講座
2012年 医)徳洋会理事長 大谷歯科クリニック院長

【主な所属・役職】

日本補綴歯科学会専門医・指導医/日本顎咬合学会認定医/Esthetic Explorers(スタディッククラブ)主宰

きりとり線

注文書

1リテナーオールセラミック接着ブリッジ臨床ガイド

モリタ商品コード:208050941

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。